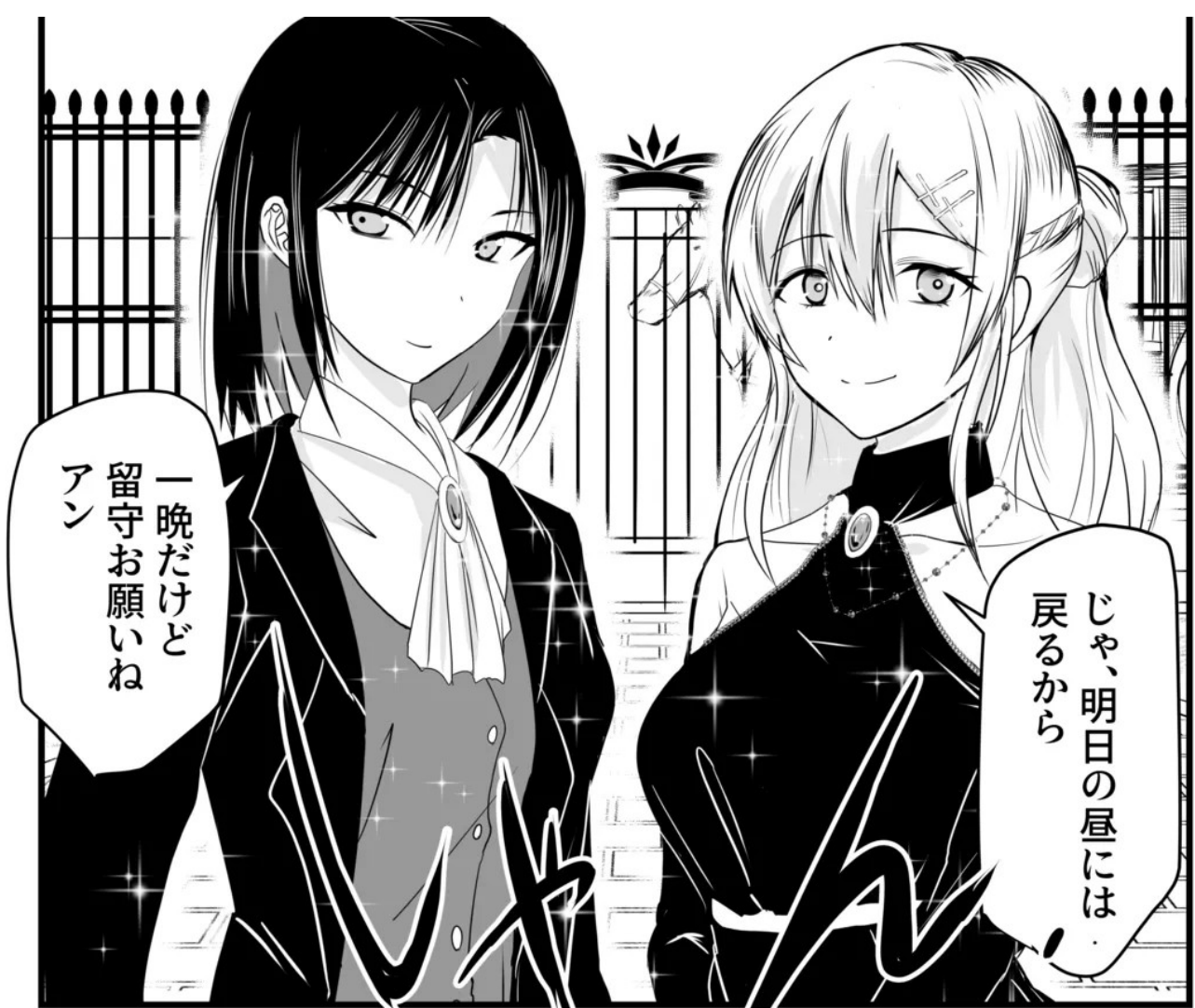


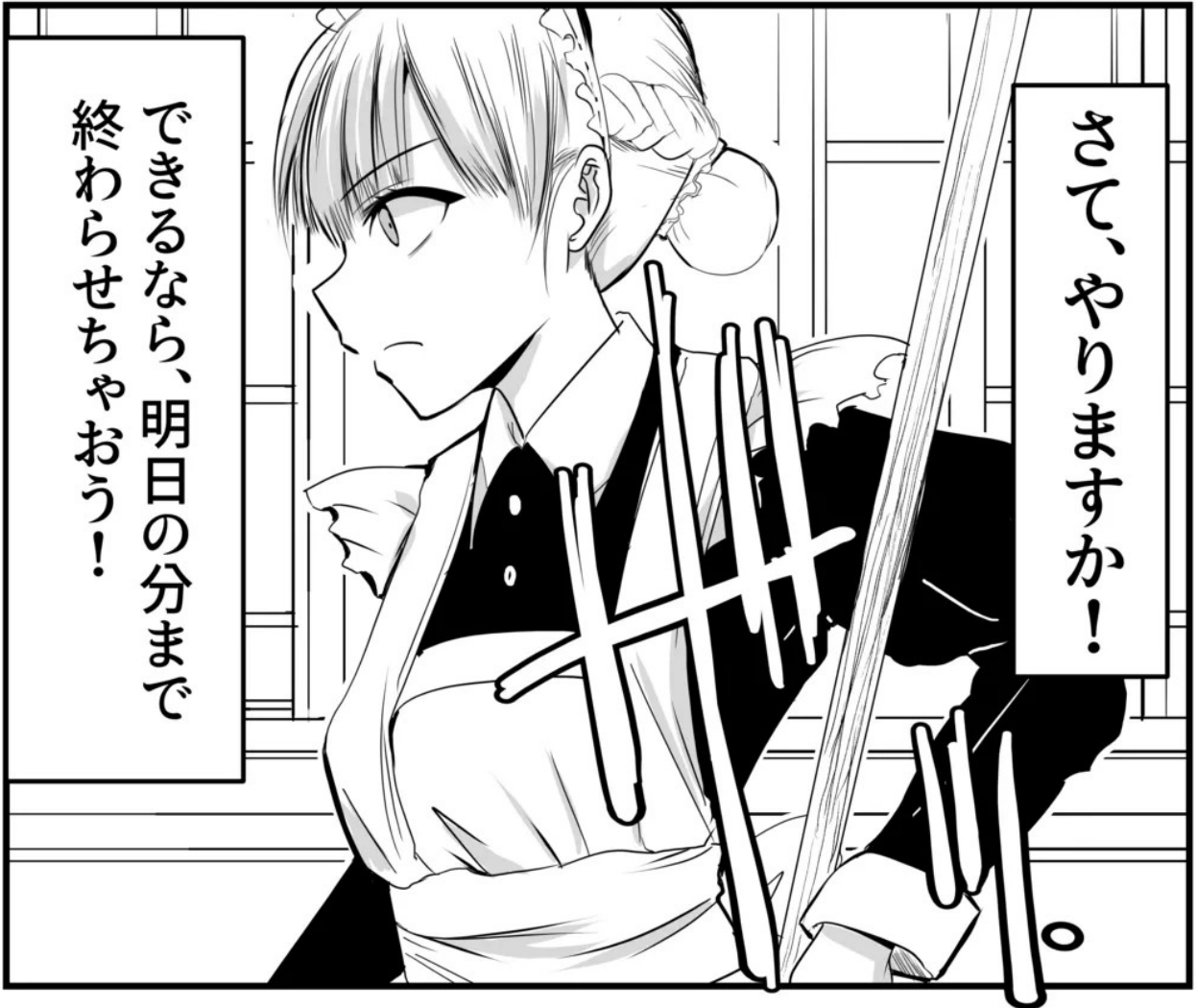
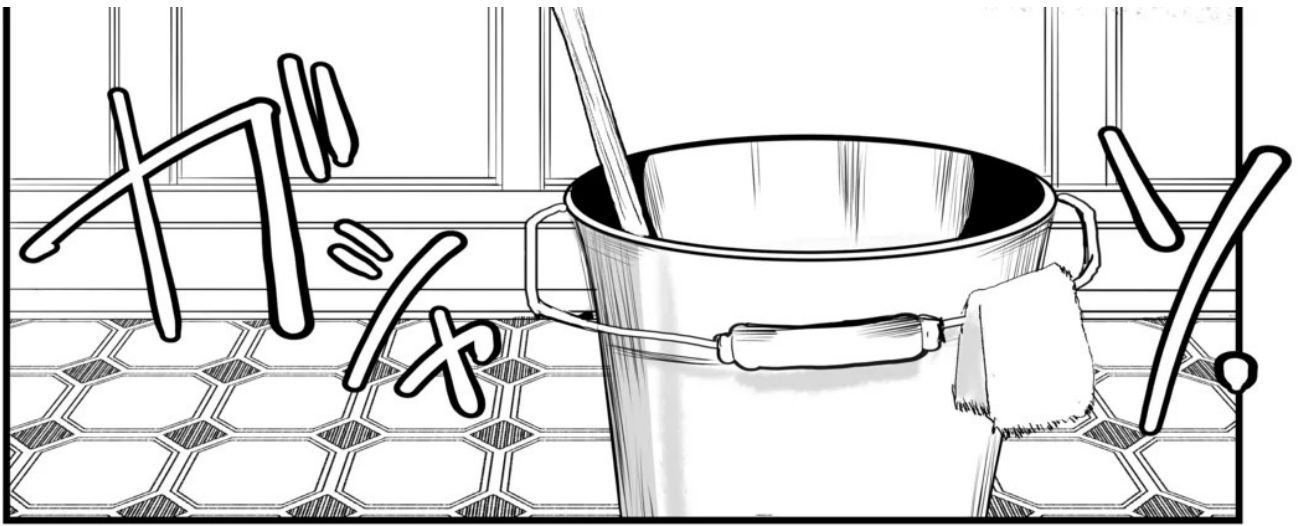
ひみ
ちの
か
し



R18

ADULT ONLY







それにしても
…やっぱり広いなあ

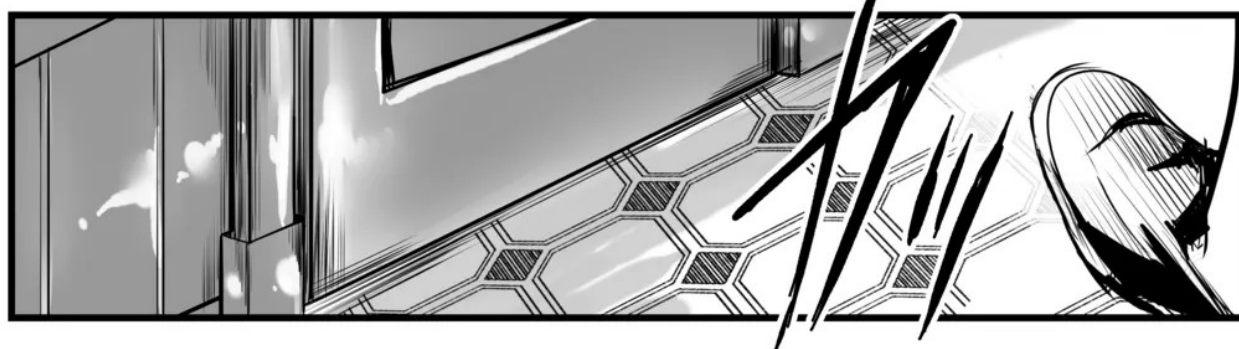
だというのにエレナ様は
ここを3分の2程も
担当してしまう

凄すぎでしょ
ホント…



どうしたら
あんなふうにな
れるのかなあ…。

クールで、カッコよくて
シゴデキで、綺麗で
そんでもって何か
最近エロい！



「懲罰部屋」？



あ…

そう、今は使われては
いない部屋だけど



絶対
近づいてはダメよ

その：曰くが
あつたりなかつたり
するから：



と、エレナ様は仰ってたけど
：おそらく方便だと思う

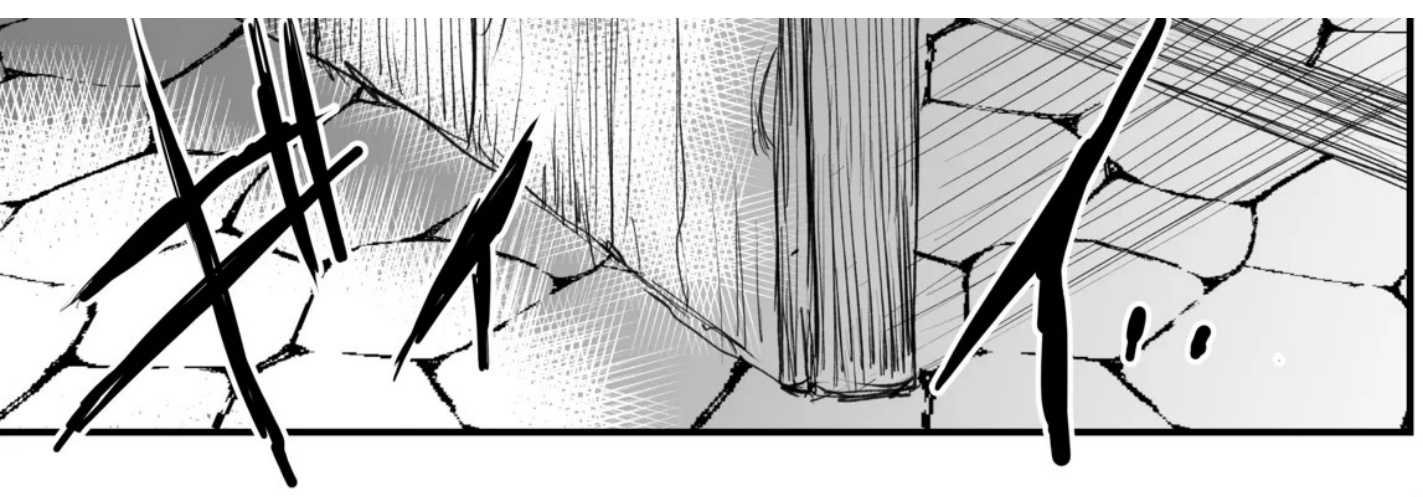
だってこの屋敷に
そんなものあるはず無いし。

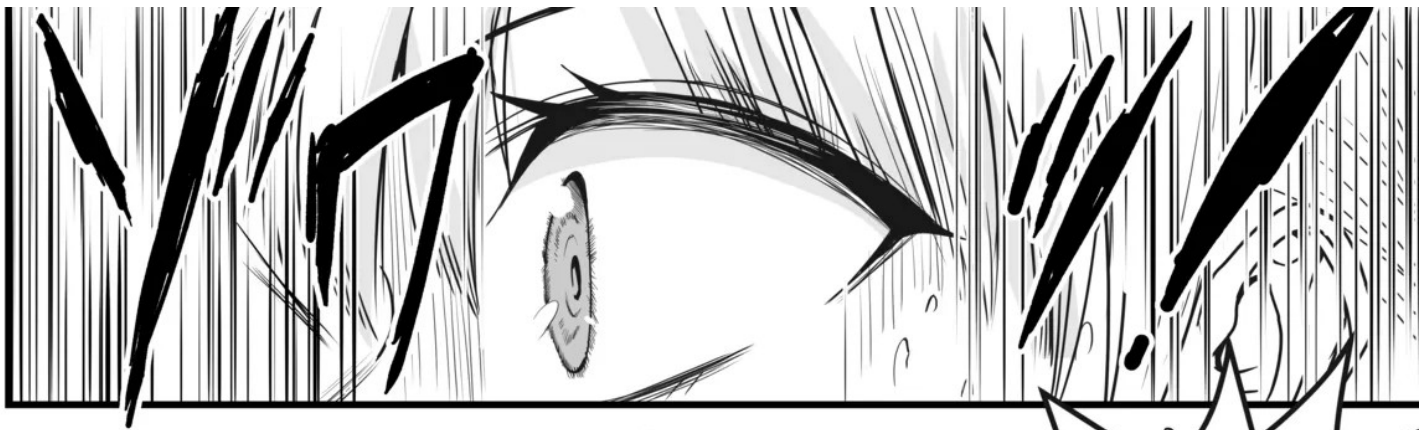
あの方は優しいから
私に管理の負担をかけまいと
そんな事を言ったのかも

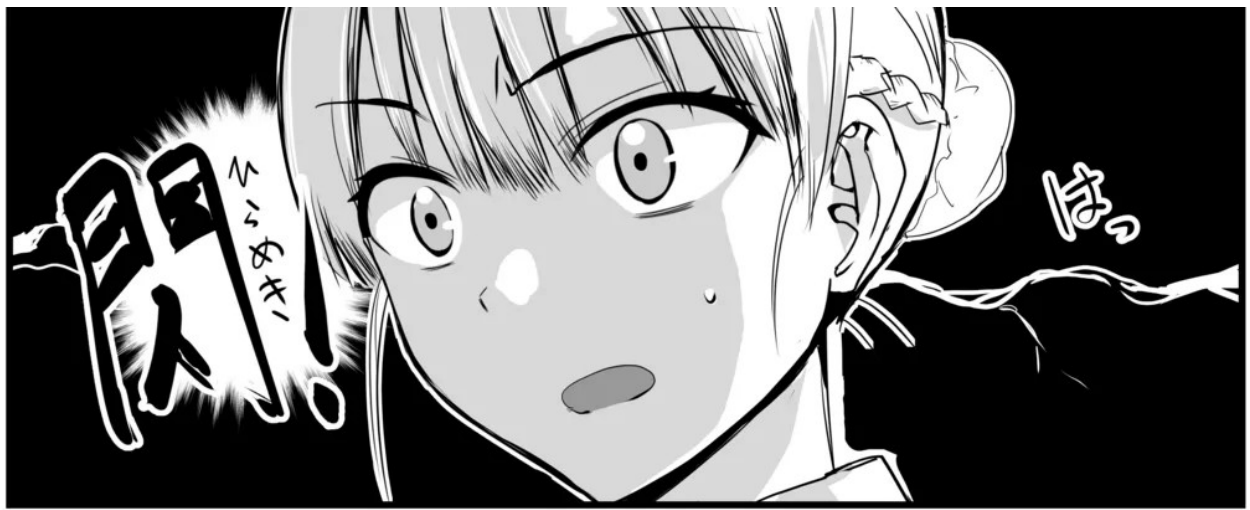
だとしたら私はなんと
不甲斐ないのだろう



ごめんなさいエレナ様
少しでも確認させて
いただきます…







閃！
ムムキ

はっ



まさかエレナ様は、文字通り
その御身を捧げることで



最近のエレナ様の
様子と

そして私をここに
近づけさせないかのような態度…

ドクン

ドクン



地下室

ハレンチな形状の
触手…



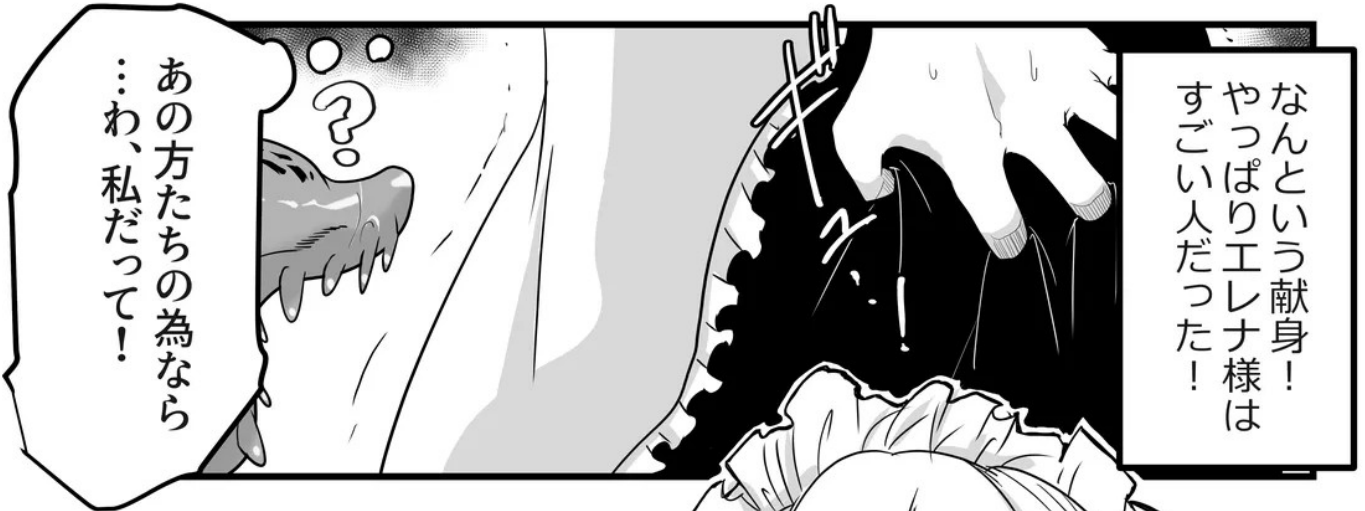
この化物から
庇って
くれていたと
いう事なのでは!?

私やお嬢様を
守るために…!!



その頃の
二人

早く帰って
触手くんと
遊びたいなあ



あの方たちの為なら
…わ、私だって！

なんとという献身！
やっぱりエレナ様は
すごい人だった！



エロいことをするのなら
かつ、代わりに私で
我慢していただきたい！！

これ以上あの方たちには
手を出させません！！







キモチワルイ……

ふーっ
ふーっ

気持ち悪い
気持ち悪い……



ん



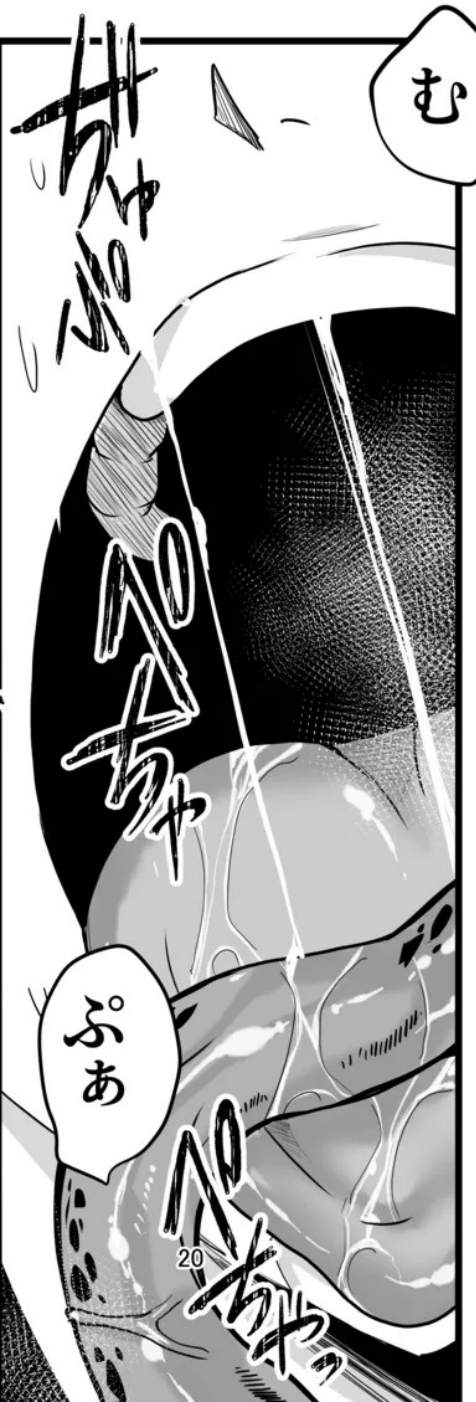
う



キモチ……





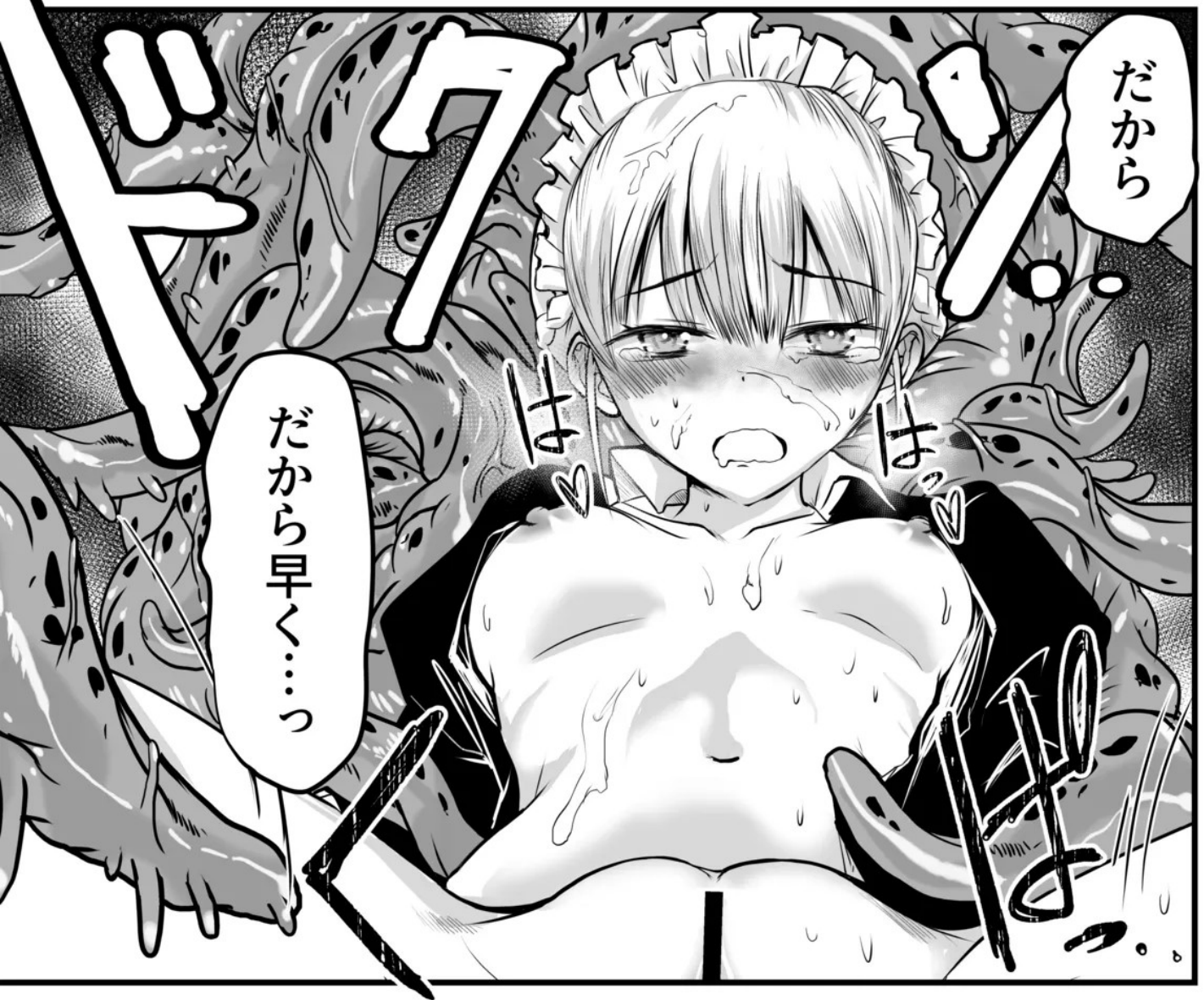




なんだっけ
そう、えっと...
これはエレナ様の
身代わり だから

違う違う

これ...もう
最後まで...っ



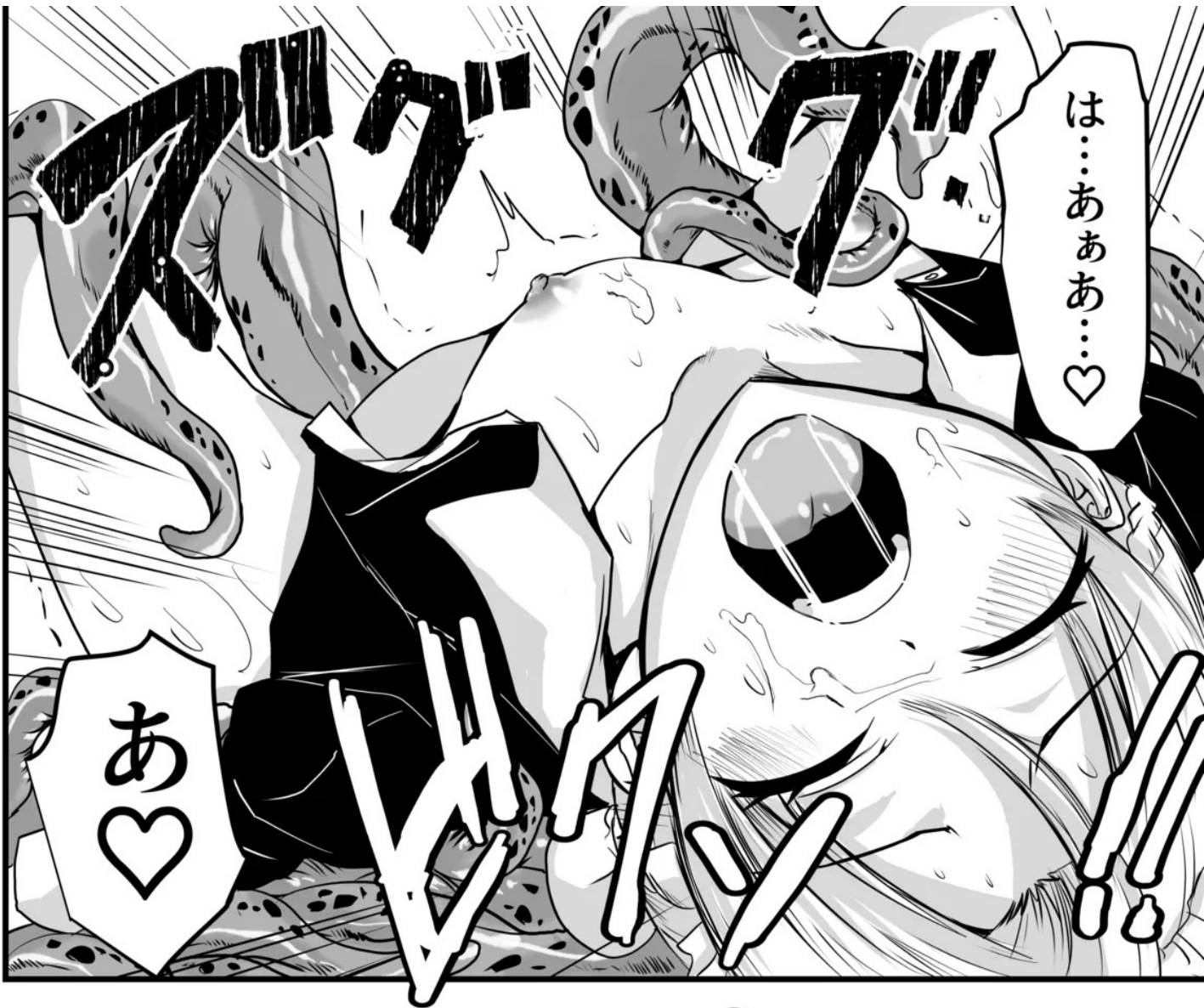
だから早く...っ

だから



あ...っ♡

はあ





はっ♡

あ

あっ

うあ♡

はっ

あ♡

あ♡





あっ？

はっ♡



うあ…

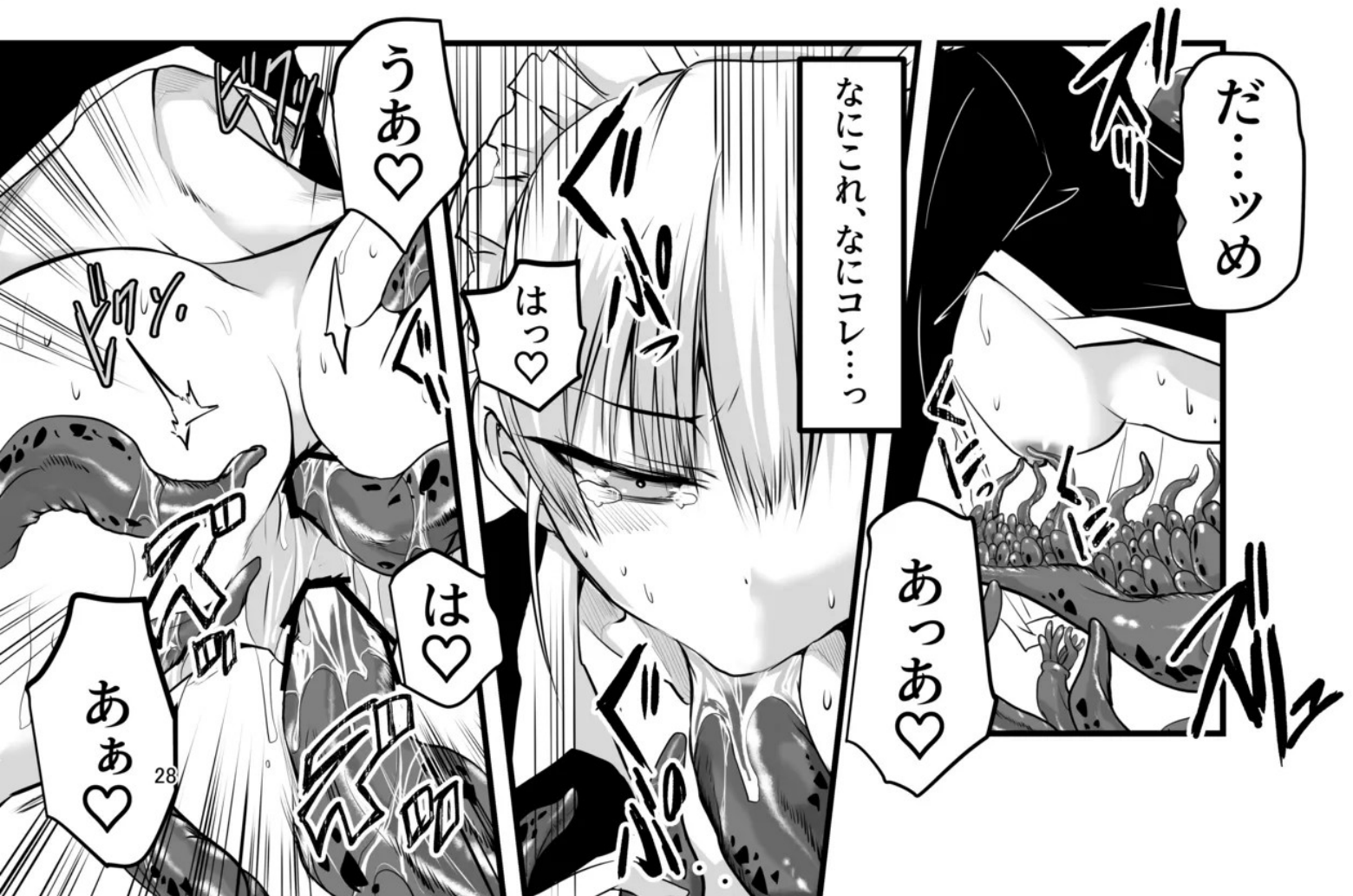
あ♡

…お♡

あぁ～……♡



おしりにも……♡





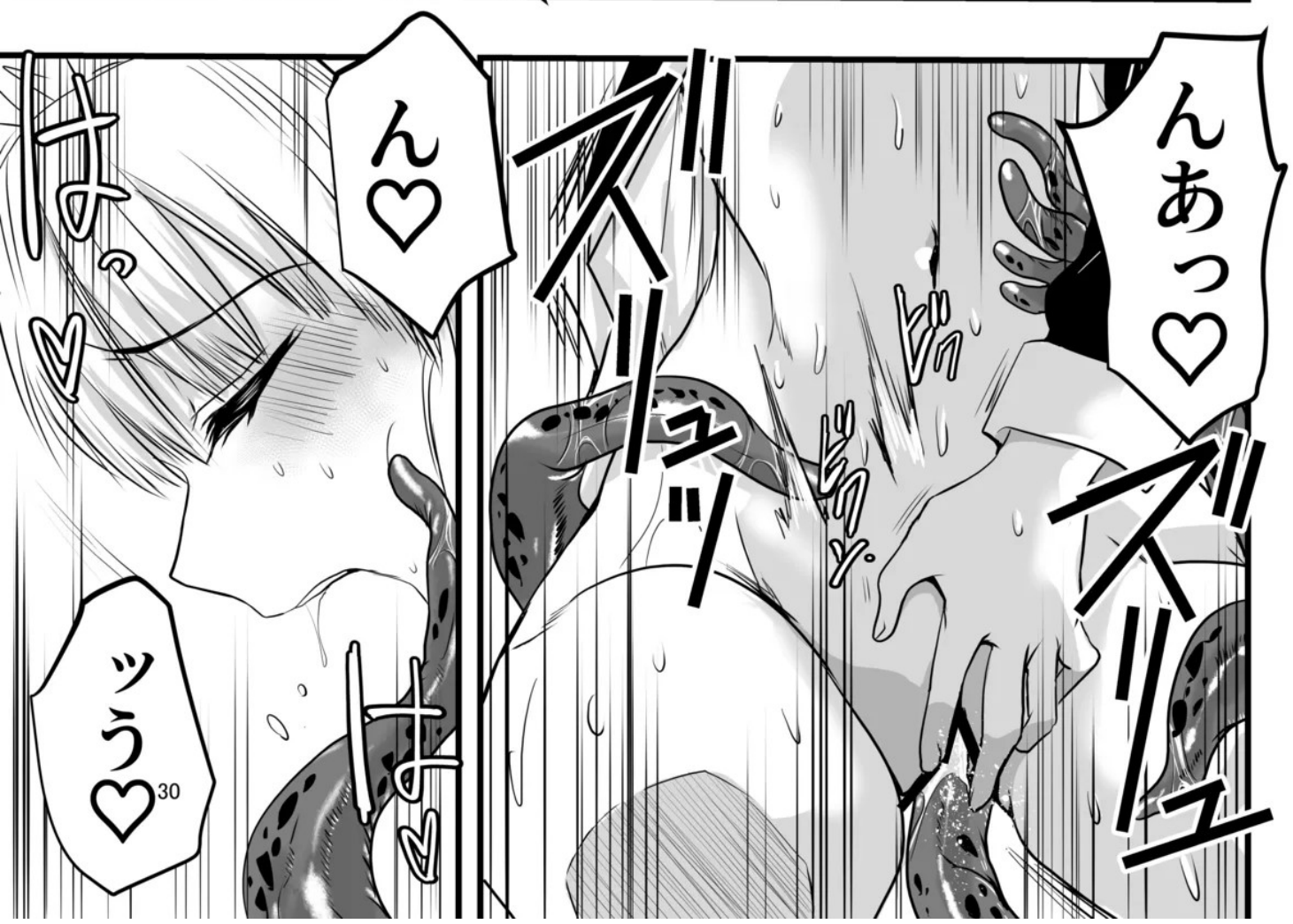
なんでこんなに
気持ちいいの…!





あっ...あ

ああああああ



んあっ♡

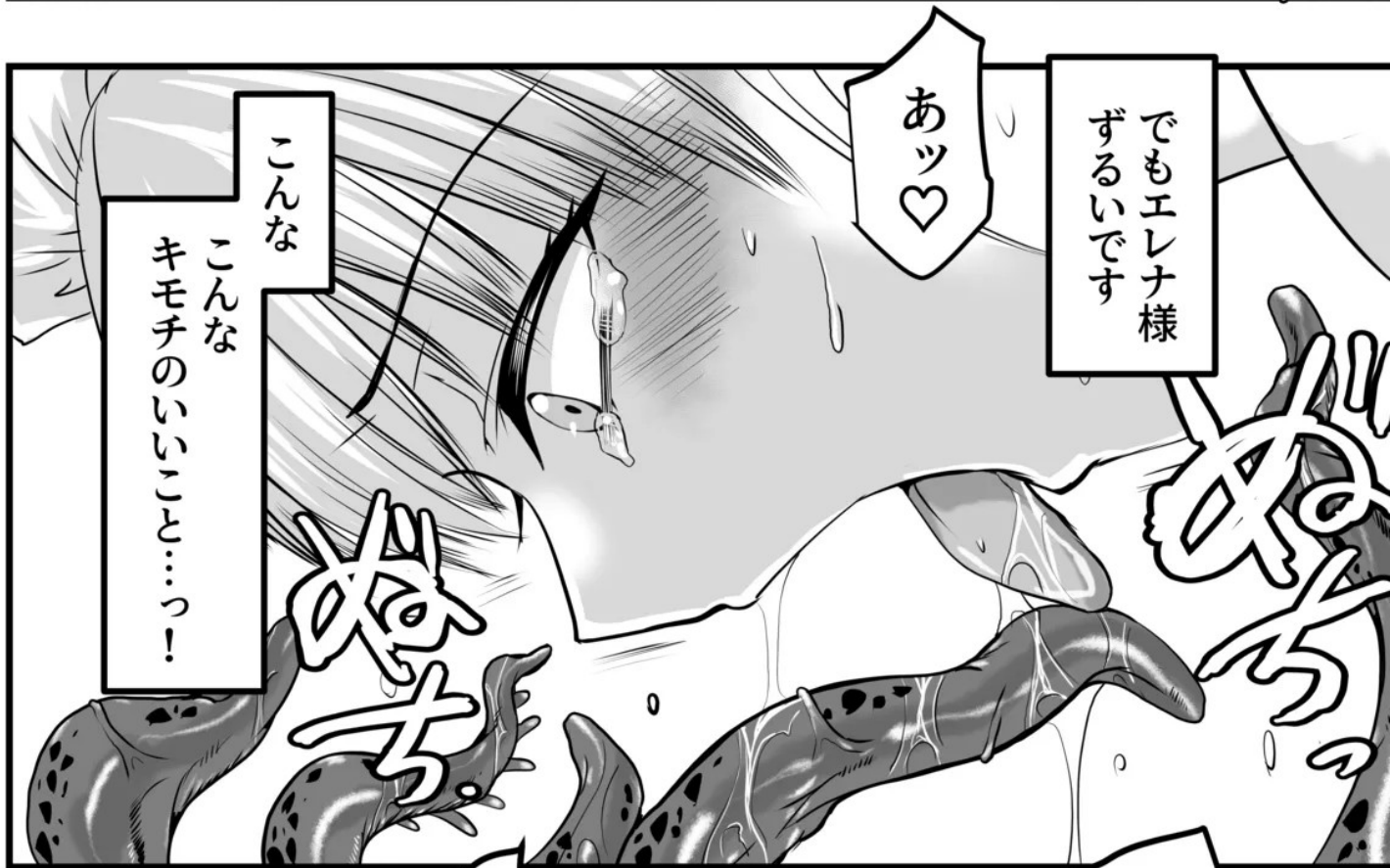
ん♡

♡♡♡
30

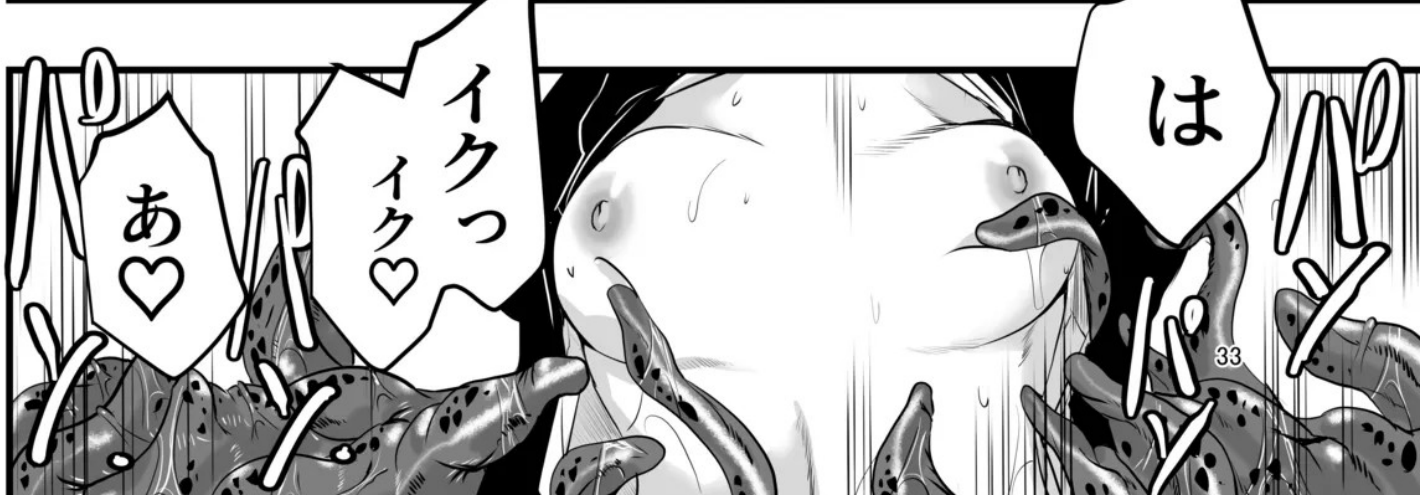




私、身代わりの
つもりだったのに
自分から
こんな：



こんな
こんな
キモチのいいこと…っ！



あ♡
イクっ
イク♡



はあ...あ...♡

あ

はっ♡
あ♡

これ、凄い...♡

あっ!



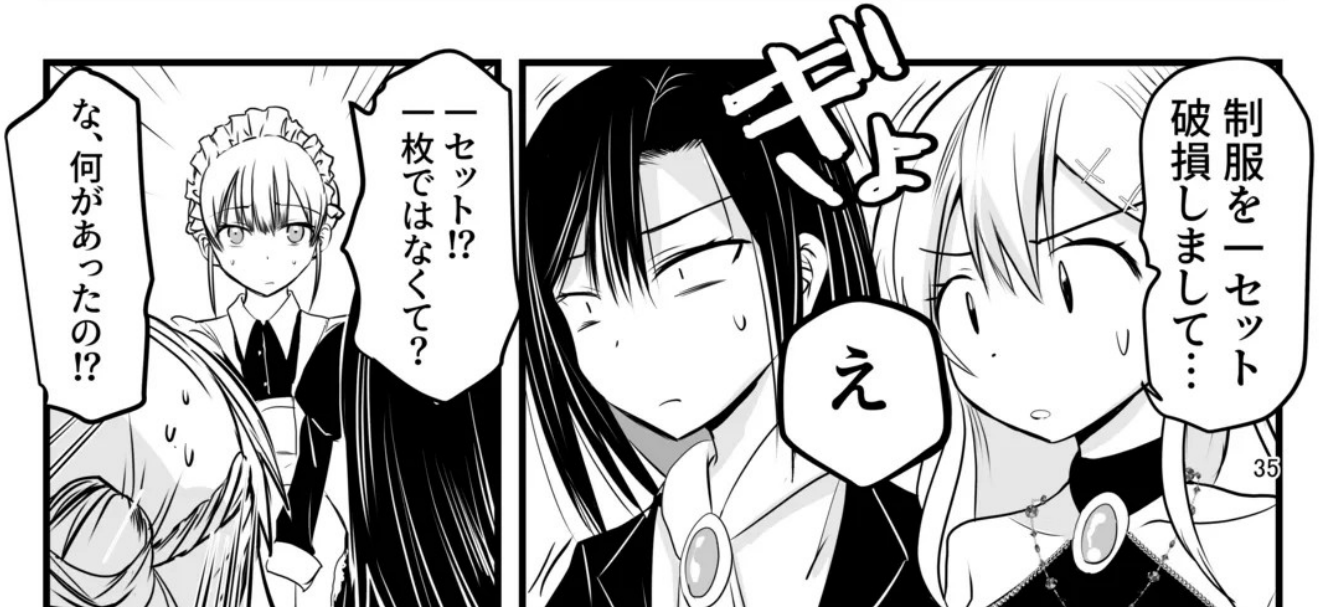
変わりはなかったかしら

ただいまー
留守ありがとうねアン



すみません
実は…ですね

アン？



な、何があったの!?

一セット!!
一枚ではなくて？

制服を一セット
破損しまして…

え



- ※この物語はフィクションです。
- ※18歳未満の方の閲覧は固く禁じます。
- ※無断転載、複写、複製、インターネット上へのアップロードを禁止します。

